

## 2019年度 活動実績

はじめに 「豊島棚田くらぶ」としての活動5年目の本年は、3年毎の瀬戸内芸術祭が開催され賑わいの中で、年間活動回数は19回、延参加者数206人の協力を得ることができた。年間の活動、出来事の概要は以下のとおりである。

1. **棚田の保全・景観** 六角庵周辺、三角地畑を含み棚田および田んぼは年度を通しほぼ良好な景観を確保できた。ただレンコン畑は雑草に覆われレンコンの花が咲かない畑となった。ここ数年来の懸案となっていた当くらぶの棚田に隣接する下側の棚田の草刈りを実施し、「唐櫃の清水」からの棚田の景観確保をすることができた。なお昨年以上に作業日には少しでも畔の草刈り作業ができる時間を確保していく。

### 2. 主な作物栽培

(1) **稲作** 6月に田植え、7～8月の草取りは例年並みの2週間毎に3回実施できた。6月には水不足の事態となり、一時田植え時期が遅れるかと思われたが地元協力者の配慮、協力もあり予定どおりに実施することができた。収穫量は昨年の145kgから大幅に増え、225kgであった。なお、5月には田んぼのレンゲの花が結実し黒い種となった後に田んぼを耕耘し種を漉き込み、10月の稲刈り後のレンゲの種まきをしなくてもよいようにした。年をまたぎ3月末ころには思惑通り田んぼにレンゲの花を確認できた。

(2) **蕎麦** 昨年と同じ作付畑に、種まきも昨年と同様に筋まきとし、刈取り作業を効率化した。収穫量は玄蕎麦27kgほどの収穫となった（蕎麦粉にして18kg）。昨年収穫量が少なかったこともあり今年には肥料を施すことにし、作付畑2枚のうち1枚は肥料有り、1枚は肥料無しとした結果、有り無しでは実りの時期の差があり、結局刈取りを2回に分けて実施することとなった。枝豆などの抑制栽培（種蒔き～収穫時期をずらし長期間に亘って食べるを楽しむ）はそれなりの意味があるが、蕎麦は白い花を見て楽しむ期間が少し長くなったが手間が掛かるだけであった。

(3) **小麦** 前年に種まきをしていた小麦（香川県のブランド品種“さぬきの夢2009”）が60kg収穫できた（30kgは製粉し小麦粉20kgとな

り、残り30kgは保管中。前年の収穫量22kgの約3倍）。また11月には畑2枚に種まきをし麦踏みも実施した。

(4) **レンコン** 棚田の下段の方に新たなレンコン池を設け約100本の種レンコンを作付けしたが、新芽が出てくるのが非常に少なく、また除草も行きとどかなかつたため、大輪の花が咲く事無くレンコンの収穫もできなかった。景観確保のためにも次年度、再度の栽培を目指す。

(5) **花の栽培** マリーゴールド、ひまわり、コスモス、スイセン、バラ、彼岸花など。特に六角庵前の三角地畑は入念な手入れが行き届き、また最上段畑にはスイセン群が定着し季節感のある景観が得られている。また棚田の畔の各所に移植したスイセンの白い花は一際目に付き春先の棚田の景観に一役担うことができた。

(6) **その他作物** そら豆、グリーンピース、枝豆、マクワウリ、ジャガイモ、など栽培。

3. **豊島の活動回数、参加者数** 年度計画の主要活動である田植え、稲刈りには家族連れ参加者が増え、各30人ほどの多数の参加者があり、また収穫祭・BBQなどもあり、活動回数19回となり、延参加者数は206人となった。なお年度当初の正会員は54人、賛助会員は3個人、3法人である。

### 4. その他特記事項

(1) **収穫物の販売** お米、蕎麦粉、小麦粉、ジャガイモなど会員で分かち合い、残りは販売し運営費に充当した。

(2) **水路補修** 前年度に引き続き残っていた1/3ほどの田んぼ山側の水路に、土嚢袋の設置を一通りの土嚢設置は完了した。また水路／畔間の波板を合わせて交換設置した。

(3) **収穫祭他** 12月に収穫祭を開催した。収穫した蕎麦でしっぽく蕎麦、蕎麦チジミを十分に楽しむことができた。また4月に懇親会、2月に新年会などを開催し意見交換の場とした。

(4) **六角庵の再生・整備** 六角庵前広場の東側に豊島石で“かまど”を組み上げた。収穫祭・BBQなどでの活用が期待される。